

【様式1】

学生支援緊急給付金申請書 **【記入例】**

独立行政法人
日本学生支援機構理事長 殿

私は、独立行政法人日本学生支援機構（以下「機構」という。）の学生支援緊急給付金を申請します。
私が現在、機構の奨学生である場合は、機構が保有する私の口座情報を学生支援緊急給付金の振込先情報として利用することに同意します。

1. 基本情報

		提出年月日	2020年 7月 5日		
所属する学校名		新潟国際情報大学			
学籍番号		21020999			
氏名	カナ（姓）	コクサイ	カナ（名）	タロウ	
	漢字（姓）	国際	漢字（名）	太郎	
生年月日（和暦）		昭和・平成 11年1月1日生	電話番号	025-239-3111	
機構の奨学生番号 ※機構の奨学生のみ記入ください。		—	—		

2. 振込先情報

※ 機構の奨学生は記入不要です。ただし、機構の奨学生であっても機構に登録している口座が解約済であるなどの理由により、学生支援緊急給付金の受取りに支障がある場合は記入してください（機構の奨学金の登録口座については、別途、変更の届出が必要です）。

口座名義（カナ氏名） ※通帳記載の口座名義人を記入	
------------------------------	--

（ゆうちょ銀行以外の金融機関）

金融機関名・支店名	銀行 信用金庫 農協	支店 営業所 出張所
金融機関コード	店舗コード	※第四または北越銀行で店舗コード変更に注意すること
預金種別	普通預金	
口座番号 ※右詰で記入		

（ゆうちょ銀行）

ゆうちょ銀行	記号	
	番号	

3. 申し送り事項

- ※ 証明書の提出が困難な理由や多子世帯、ひとり親世帯等であることなど、大学等に申し送りすることがあれば記入ください。なお、こちらに質問などを記載しても返信致しません。
- ※ 大学等1年生で予定していたアルバイトがなくなった場合等は、そのような事情を記入ください。

申し送り事項の記入例(番号は【NUIS版】学生支援緊急給付金を受けるための要件に係る確認書に対応)

②自宅で生活していますが家庭から支援を受けていません。

③1年生で入学後アルバイトを行い、収入の半分以上を生活費や学費にあてる予定であったが新型コロナ感染予防からアルバイトができなかった。／3年で今までアルバイトをしていなかったが、1月以降アルバイトをして1か月のアルバイト収入の半分以上を生活費や学費にあてる予定だったが、新型コロナ感染予防からアルバイトができなかった。

④自営で公的支援「持続化給付金」を受けたが、受給証明書を紛失して提出できない。

⑤減額前のアルバイト給与明細を廃棄してしまったため、提出できない。／生活費を稼ぐためアルバイトを始めようと思っていたが、新型コロナ感染症予防のためアルバイトはせずに生活費・学費がまかなえなくなった。

⑥給付奨学金・貸与奨学金のいずれも活用していないが、給付奨学金・貸与奨学金のいずれかを1か月以内に申請する予定である／親の収入が今まで多かったため活用できないことがわかっているため。但し今は親の収入も減ったため民間の奨学金を探している。

ひとり親世帯です。／兄弟が多く、私と高校生、中学生の3人兄弟です。

4. 添付書類

- ※ 該当書類の「チェック」欄に「○」を記入してください。該当がない場合は、添付する書類名を記載のうえ、「チェック」欄に「○」を記入してください。

チェック	書類名
	預貯金通帳の写し（任意）
	アパート等の賃貸契約書の写し（自宅外生のみ）
	新型コロナウイルス感染症対策に係る公的支援を受けている受給証明書等（提出可能な場合）
	アルバイト先からの給与明細（減額前、減額後）（任意）
	奨学生証又は住民税非課税証明書（生計維持者(保護者等)のもの）（提出可能な場合）
	その他（ ）

ご記入いただいた情報は、機構の学生支援緊急給付金のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報が、文部科学省、学校、金融機関及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。

また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複支給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。